

溝邊 和成（みぞべ かずしげ）

<ゼミの内容・方法>

- 1 小学校（生活科、理科、総合学習など）の授業実践、カリキュラムづくり、教師教育等を中心に、関連する内容、隣接校種も含め、幅広く扱います（※1）。
- 2 主体的な文献研究・実践研究報告（レポート）を奨励するとともに、ゼミ生同士のチームワークを大切にします（※2）。
- 3 研究成果は、国内外の学会発表、学会誌への論文投稿をめざします（※3）。

（※1）関心事・指導内容等：キーワード

幼小連携・接続カリキュラム 教員養成・育成プログラム（幼・小） 世代間交流活動 異年齢集団学習 イエナプラン教育 STAEM 教育 生活科 理科 総合学習 明石プラン コアカリキュラム クロスカリキュラム トピック学習 及川理論（大正期） ESD SDGs 環境教育 マルチプル・インテリジェンス 自然を表す言葉 命名活動 諸感覚思考スキル 自己調整学習 コンセプトマップ ラーニングスケッチ コンフリクトマップ 科学絵本 ネイチャーゲーム 生涯学習 キャリア教育 など

（※2）院生へのメッセージ

いつでも どこでも 誰とでも つながって
好きなことを好きな時に好きなだけ 研究を！

（※3）

例) 院生の学会発表題目（2019-20）

- ・総合的な学習の時間における ICE モデルを活用したキャリア教育の授業改善 —マンダラを用いた表現による自己有用感向上の検証—
- ・プログラミング的思考力の基礎を養う幼小接続期カリキュラムの構想
- ・世代間交流の学習基礎：学校教育活動研究の焦点化に向けて ～異年齢集団学習にかかる構想
- ・実践報告より考える～ 世代間交流活動を核とした連携一貫教育の試み、多世代同時学習型防災教育の構想
- ・小学校総合的な学習の時間における ICE モデルを活用したキャリア教育の授業改善 —自己成長の作品作りと社会貢献（地域清掃活動）による自己有用感向上効果について—
- ・総合的な学習の時間の授業研究における教員の成長に関する研究 —授業研究参加者の意識変容に焦点をあてて—
- ・生活科授業における思考ツールの活用
- ・総合的な学習の時間における ICE モデルを活用したキャリア教育の授業改善
- ・STEAM 教育に根ざした生活科教育の検討
- ・Attempt of the Class of Living Environment Studies based on STEAM Education; Practice Example in the Second Grade using Magformers
- ・The idea of Science Activities to Nurture the Early Scientific Thinking: Attempt of Science Lessons (6-7 years old)with Soap bubble